

【 注射 】

465 シクロスポリン【注射薬】（角膜移植術後）の算定について

《令和7年2月28日》

○ 取扱い

角膜移植術後の患者に対するシクロスポリン【注射薬】（サンディミュン点滴静注用）の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

角膜移植は、角膜混濁や角膜変性に対して実施される。眼には視機能の保護を目的として炎症反応を最小限に抑制する「免疫特権」が存在するため、角膜移植による拒絶反応の発生頻度は低いが、拒絶反応が発生した場合は、免疫抑制剤を投与する必要がある。

サンディミュン点滴静注用の添付文書の効能・効果は、「下記の臓器移植（腎移植、肝移植、心移植、肺移植、膵移植、小腸移植）における拒絶反応の抑制」、「骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制」である。

また、本医薬品は、T細胞におけるシクロフィリンとの複合体を形成し、ヘルパーT細胞の活性化を阻害することにより、異常な免疫反応を抑制する。このため、角膜移植による拒絶反応に対する投与は有用である。

以上のことから、角膜移植術後の患者に対するシクロスポリン【注射薬】（サンディミュン点滴静注用）の算定は、原則として認められると判断した。